

# 会員登録申込書

No.

申し込み日 年 月 日

フリガナ

氏名 (男・女)

生年月日(西暦) 年 月 日

住所 〒 □□□-□□□□ 都道府県

電話番号

緊急連絡先 (ご本人様以外) 氏名 (続柄)

電話番号

- 一般 高校生  
大学生 小・中学生  
専門学生

クライミング歴の有無

- 初めて  
経験有り( 級・段)

よく行くジム

( )

Rock on The Beachを選んだ際の方法は?

- インターネット  
知人の紹介  
チラシ・ポスター  
その他( )

誓約書

Rock on The Beach 殿

私(保護者)は、クライミングが死亡や重大な障害などの危険性を伴うスポーツであり安全を確保する技術や、設備が完全でないことをよく理解しています。また、私(保護者)の行動が、他の施設利用者を大きな危険に遭わせる事も理解しています。Rock on The Beachの利用にあたり、私(保護者)は怪我や事故が発生しないように最大限の努力を払い、スタッフの指示を尊重し、十分に配慮して行動します。そして別記のリスク説明を理解したうえで施設を利用し、怪我(後遺症や死亡も含む)等の事故、盗難等のトラブルは自己の責任において、処理することを誓約致します。

 Rock on The Beach  
climbing house

〒610-0313  
京都府京田辺市三山木八反坪9-1  
TEL:0774-46-9448  
mobile:070-4485-4435

年 月 日

署名

保護者氏名  
(未成年者様のみ)

# 注意事項・施設利用ルール＆マナー

01

ボルダリングエリアは、安全確保のため厚みのあるマットが敷いてありますが、落ちた時の体勢の取り方ひとつ間違えれば、ケガ(特に「足首の捻挫」「骨折」など)をする場合があります。  
また、マットと壁の間には隙間があり、そこに墜落をした場合は衝撃が吸収されません。  
このように、完全に安全確保ができていないということではないことを認識してご利用ください。

02

ボルダリングエリア内は全ての方が、周囲の状況に常に気を配っていなければ、単独でなく他者を巻き込んだ事故(他人との接触など)も起こります。自分の行動によって自分がケガをしないように、他者を怪我させないように、そして他人の行動によって自分がケガをすることのないように注意しましょう。各自が自己責任において身の安全を確保するよう努めましょう。

03

マットの上には座らないでください。  
登っていない時は、マットの外で待機し、登っている人の後ろや下には入らないでください。

04

壁の上方から飛び降りないようにしてください。  
壁の上方に登った時は、ケガをしないよう考え、なるべく持ちやすいホールドを持って降りてください。

05

マットへの着地は、下に人や障害物がないか確認し、膝のクッションを使い両足で着地してください。  
背中や胸から着地すると危険です。  
着地の姿勢が悪いと、捻挫、骨折、脱臼など起こりえますのでご注意ください。

06

登る前に、先に登っている人の登る方向に注意して登ってください。近い場所で同時に登った場合、壁内で衝突するだけでなく、墜落時に接触事故になります。  
クライミングウォールの状況を把握し順番に登るなど、コミュニケーションを取りながら登ってください。

07

長時間同じ壁を占領しないでください。ただし当施設が行うスクールなどで、一部使用させていただく場合がございます。  
ご理解ご協力をお願い致します。

08

スタッフの注意、指示を無視した場合は、ジムの利用を中止していただく場合がございます。  
その際、お支払い済みの利用料金、登録料の返却は致しませんので予めご了承ください。

09

アルコールを飲んでのご利用はお断りさせていただきます。

10

キズについては困る高価な装飾品や、登りの妨げになるもの(指輪や時計など)、ケガの原因になるものは、外してご利用ください。

11

貴重品や持ち物は自己管理してください。  
設備備え付けのロッカーをご利用いただけますが、紛失、盗難などの責任は一切負いかねます。

12

施設内で撮影されたセッション風景や講習の様子などの写真をWebやパンフレットなどで使用させていただく場合があります。予めご了承ください。

13  
オービライ

- カラビナの付け忘れがないよう、登る際は毎回必ず確認して下さい。
- ハーネスは正しく着用できているか、緩みや捻じれがないかをしっかり確認して下さい。
- 最初はルートに関係なく、ある程度の高さまで登り、降りる練習をして下さい。  
いきなり高い所まで行くと、恐怖心で降りられなくなる事があります。
- 降りる際はオートビレイ機の真下まで移動してから降りて下さい。  
ゴールした後や途中でやめる時も、なるべく真下まで移動する事を心掛けて下さい。
- 降りる際は椅子に座るイメージで、腰を落として降りると安全です。  
体が壁やホールドに当たると擦り傷などの原因になります。当たりそうな時は足で軽く壁を蹴って降下して下さい。
- 下で待つ人はクライマーの降下地点から離れた位置で待機して下さい。  
また、クライマーは降下地点に人や障害物がないかを確認して下さい。
- 一定のスピードで巻き上げる為、スピードクライミングとしての使い方はしないで下さい。
- オートビレイ機の体重制限は10kg～150kgです。身長は120cm以上が対象になります。

全て読み終え、各項目をご理解の上、ご同意できましたら  
サインをお願い致します。

氏名